

8. 古墳のおわり

卑弥呼（ひみこ）が亡くなった頃から 350 年以上もの長い間つくられた古墳も、やがてつくられなくなってしまいます。それまでは巨大な古墳をつくることで、王や豪族（ごうぞく）の力の大きさを示していたけれど、それを止めてしまったの。

博物館から北へ 1 キロメートルのところで見つかった伽山古墓（とぎやまこぼ）というお墓は、今から 1300 年前、奈良時代につくられました。木でできた棺の中から、銀でできたベルトの飾りが見つかったので、位の高い人が葬られていたことが分かります。この頃、中国の制度にならって身に着ける服の色やベルトの飾りで、その人の位が分かる仕組みがつくられていました。

さて、ここでクイズです。当時の人は、服や帽子（ぼうし）の色で身分（みぶん）が分かるようにしていましたが、いちばん高い位を示した色は何色でしょうか？ 正解を聞きたい人は 5 8 番を押して下さい。

（5 8. クイズの答え）

正解は、紫色です。伽山古墓の左にある帽子とベルトの展示パネルをみてみましょう。これをみると、紫・青・赤・黄・白・黒の順番で位が高かったことがよく分かります。